

などのルールがあるので、保護者のみなさんにもご注意いただきたい」と説明しました。

キャリア委員長も務める園田准教授は、「新型コロナウイルス感染症により公務員試験などの日程が変更となったため、今年度の学生には例年と異なる特別な指導を行っている。きめ細かい個別指導もしているので、ぜひ活用してほしい」と、サポート体制が十全であることを強調しました。

質疑応答では、1年生の保護者から「実習する園はどのような基準で選択しているのか」との質問に、「大学と信頼関係を築いている園と連携している。また実習後には満足度調査を行い、質を担保している」と回答しました。

その後、2号館のブースで、希望者のみの個人面談が行



井戸学部長は「メディア授業を円滑に進められたのは学生と保護者の協力のおかげ」と感謝

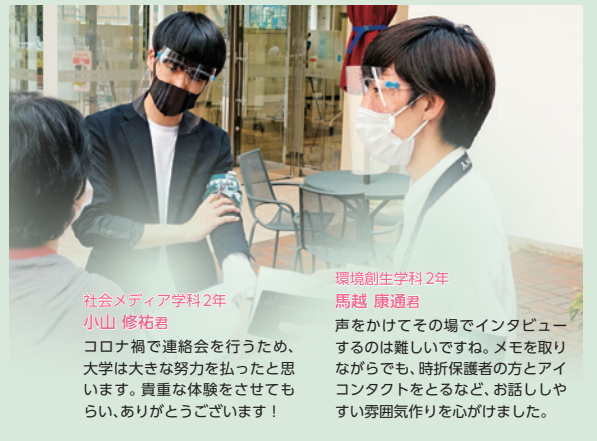


実習委員長とキャリア委員長を兼任する園田先生はコロナ禍の就職状況について詳しく説明

われ、1時間以上熱心に話をする保護者も見られました。

今年度、全国の連絡会へのご参加は、全1,332世帯1,427名。コロナ禍においても多数ご参加いただきました。なお、今回の連絡会は、検温、アルコール消毒、マスク着用を徹底し、ソーシャルディスタンスを保つなど、十分な感染症対策を行った上で実施しました。

等々力キャンパスは私たちが取材しました！



社会メディア学科2年
小山 修祐君

コロナ禍で連絡会を行うため、大学は大きな努力を払ったと思います。貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございます！

環境創生学科2年
馬越 康通君

声をかけてその場でインタビューするのは難しいですね。メモを取りながらも、時折保護者の方とアイコンタクトをとるなど、お話ししやすい雰囲気作りを心がけました。

参加された保護者の方々の感想



都市生活学科 3年
久保 皓太郎君のお母さん

大学の先生方と話す機会が少ないので、毎年参加するようにしています。都市生活学部には民間から来た先生が多く、とてもユニークですね。東急グループの強みでしょうか。



児童学科 2年
井澤 摩美さんのお父さん

オープンキャンパスや学園祭にも来ています。コンパクトなキャンパスで、先生と学生の距離が近いのは良いですね。就職についての具体的な助言をいただきたいと思っています。



都市生活学科 4年
井口 ケイさんのお母さん

卒業間近なので、先生に感謝の思いを伝えに来ました。コロナ禍のため就活もweb面接となり、戸惑いがあったようですが、大学でアドバイスをいただいていたので良かったです。

娘は読み聞かせサークルで頑張っています。去年も参加しましたが、アットホームな雰囲気が好感度大です。

児童学科 2年

コロナ禍での大学の方針を聞きに来ました。現状や展望を伺うことができとても満足しています。

都市生活学科 1年

取材にご協力いただきありがとうございました。

名古屋会場

学修や就職に対する関心の高さを実感

横浜キャンパス 教育支援センター 係長 山中 慎一

昭和42年より開催をし、今年で54回目を迎えた「大学と保護者との連絡会」ですが、今年度は全国20会場で開催されました。今回は「名古屋会場」からご報告いたします。

「名古屋会場」は、9月13日(日)10時より「ホテルキャスルプラザ」を会場に開催し、10世帯12名の保護者の方々にご参加をいただきました。

大学からは教職員計4名にて、当日配布した冊子とともにパワーポイントによるスライドを用い、具体的な事例等を交えながら、「大学の近況」では、環境情報学研究科都市生活学専攻博士後期課程の開設や台風第19号による被災からの復旧状況、「学修の流れ」では、4年間の標準的な学修の流れや成績通知書の見方、「キャンパスライフ」では学生生活の支援体制、「就職・大学院進学」では就職

支援体制と就活支援のポイント、大学院進学の特長について説明をさせていただき、大学の取組み等についての理解を深めていただくことができたのではないかと思います。また、本学の同窓会組織である東京都市大学校友会東海支部より、校友会東海支部の活動状況および県内における就職状況やインターンシップの重要性についてご自身の経験等を交えながらお話しをいただきました。本連絡会終了後には個別相談にもご対応いただき、保護者の方々は熱心に耳を傾けていらっしゃいました。短い時間ではありましたが、本連絡会で得た貴重なご意見や情報、保護者の皆様とのコミュニケーションを今後の東京都市大学の発展に大いに役立てていきたいと思っております。

